

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより



第18号 (H28.2月発行)

今月のトピックス

① 中国の小学校の皆さんが見学にいらっしやいました。

平成28年2月に中国の2つの小学校の生徒さんが見学にいらっしやいました。

2月4日に^{こうしゅう}杭州市の小学生(48名)、2月5日に^{ねいは}寧波市の小学生(48名)が日本の下水処理場の働きについて学習しました。通訳を介しての説明を熱心に聞き、日本の子供たちと同じく、元気に質問してくれました。中国の下水道事情も教えてください、中国ではティッシュペーパーも下水に流してよいというお話は初耳でした。

最近では海外からの見学者もかなり増えています。職員一同大変嬉しく思っています。



処理場の働きについて話を聞く様子
(杭州市の小学校)



最終沈殿池を見学する様子
(杭州市の小学校)



処理場の働きについて話を聞く様子
(寧波市の小学校)



最初沈殿池を見学する様子
(寧波市の小学校)

② 音無川の水質調査をしています。

茅野市にある白樺湖浄化センターでは、白樺湖及び車山周辺から発生する下水を処理し、音無川に放流しています。平成28年4月に白樺湖特定環境保全公共下水道が廃止され、諏訪湖流域下水道に編入されるため、白樺湖浄化センターも廃止になります。廃止の前後で音無川の水質に変化がみられるか、ここ数年間、毎月音無川の水質検査を行ってきました。浄化センター廃止後しばらくの間は調査を継続し、流域下水道編入の効果を検証していきます。



採水をする様子

もっと知りたいクリーンレイク諏訪辞典 ～第6回～

“溶存酸素量 (DO)” って何だ？

“DO” (ディーオー) とは Dissolved Oxygen の略語で、水中に溶解している酸素濃度を指します。水 1L あたりに何 mg の酸素が溶けているかを表す mg/L という単位が使われることが多いです。酸素が水に溶解する量は、気圧や温度などによってかなり変化します。また、微生物の活動下で水中に有機物などの汚濁物質があると、溶解している酸素が消費され、DO は小さくなる傾向にあります。下水道終末処理場においては反応槽内で必要な酸素量が保たれているかを知ることは重要な運転管理指標となっています。

